

解明其新界不得以之為文該者中借候
 心許入度候
 前述べ候儀事末ノ諸君ニ給合子告事
 當云々現在予許ニ於テ之ヲ免出ニテ其資
 財ハ有七カノ以テ取引為ニ歎願ハ其借
 入金ニ依リテ支弁ノ事ヲ定メ百之候間申
 通知申上候通リ即更取有之度候。今更
 二在リテ元資金ノ意実ニ圖出長ク以テ資
 財調田滿ニ余儀也ト希望ナ有シ去來走
 中処知事事變ノ候ハ事方五ノ不詳事ニ有之迄
 一云々ノ誠念ニ表シ候。古中ニ於テ其ノ事座候
 延元四年六月七日 今渡邊會社 長辨辨及帽辨
 不相成候。後附一ノ為ニ其ノ事座候
 延元四年六月七日 今渡邊會社 長辨辨及帽辨



勞組第一七四部

昭和四年七月四日

警視總監 丸山 鶴吉

4.7.8
604

内務大臣 安達 謙藏
 事務局長 官 應
 大阪府 奈良川 村 知事 應

島藤製材工場ノ勞働爭議ニ関スル件

- 要旨
- (1) 財界不況 経営困難ノ為メ職工六名ニ解雇ノ豫告ヲ為ス
 - (2) 勞働者側ハ六月三日大阪府知事奈良川支那ニ依頼シ復職ノ要求ヲ為シ引續キ待遇改善ヲ要求ス
 - (3) 事業主ハ七月三日全勞働者ヲ解雇ス